

製品名: PCSK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87681**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:84 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	PCSK1
別名	PC1; PC3; NEC1; SPC3; PC1/3; BMIQ12
遺伝子ID	5122, 18548, 25204
SwissProt ID	P29120, P63239, P28840
免疫原	ヒトPCSK1の組換えタンパク質

背景

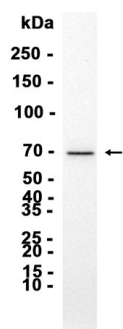
この遺伝子は、サブチリシン様プロタンパク質転換酵素ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーには、分泌経路の調

節的または恒常的な分岐を通じて輸送されるタンパク質およびペプチド前駆体を処理するプロテアーゼが含まれます。コードされたタンパク質は、ER内で最初の自己触媒的処理を受け、ヘテロ二量体を生成します。ヘテロ二量体はERから出て細胞内区画へと移動し、そこで2回目の自己触媒反応が起こり、触媒活性を獲得します。プロテアーゼは高密度コア分泌顆粒にパッケージングされ、活性化され、神経内分泌系および脳で発現します。この遺伝子は、基質を単一または一対の塩基残基で切断する7つの基本アミノ酸特異的メンバーの1つをコードします。この遺伝子は、ポリペプチドホルモンおよび神経ペプチド前駆体のタンパク質分解活性化に機能します。この遺伝子の変異は、肥満感受性およびプロタンパク質転換酵素 1/3 欠損症と関連付けられています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写変異体が観察されている[RefSeq 提供、2014年1月]

研究分野

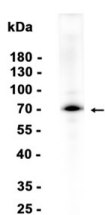
画像データ

Mouse small intestine



PCSK1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス小腸組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。

Mouse brain



AMRe87681 を 1:100 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。